



Pack  
22

# Ferrari

## 250 GTO



# Ferrari

## 250 GTO

### 組み立てガイド

**STAGE 85** リアホイール・右②

P.337

**STAGE 86** リアホイール・右③

P.341

**STAGE 87** リアホイール・右④

P.345

**STAGE 88** ペダル

P.349



## リアホイール・右②

右側のリアホイールの組み立てを続ける。写真をよく見て慎重に作業をしよう。

ネジB×3



85-1



85-2



## パーツリスト

85-1 スポークハウジング ②

85-2 タイプAスポーク×13(1本は予備)

## ネジ類

ネジB(P2.3×5 mm)×3 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 85

/01



**STAGE 85** で組み立てたリアホイールを用意する。作業を進める前に、スポークハウジングの側端に小さく切った両面テープを貼り付けよう。

85-2(タイプAスポーク)のフックを、ハブに残っている下側の穴に挿入する。Aスポークのまっすぐな端の方は、スポークハウジングの対応するノッチ(両面テープが貼られている場所)に配置する。写真のようにAスポークを正しく配置する。

/02



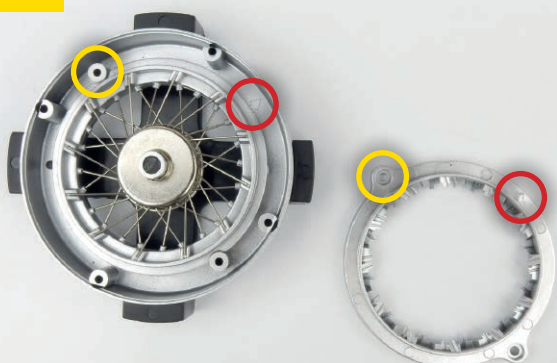
タイプAスポークがすべて、写真のように取り付けられているか確認しよう。

/03





/04



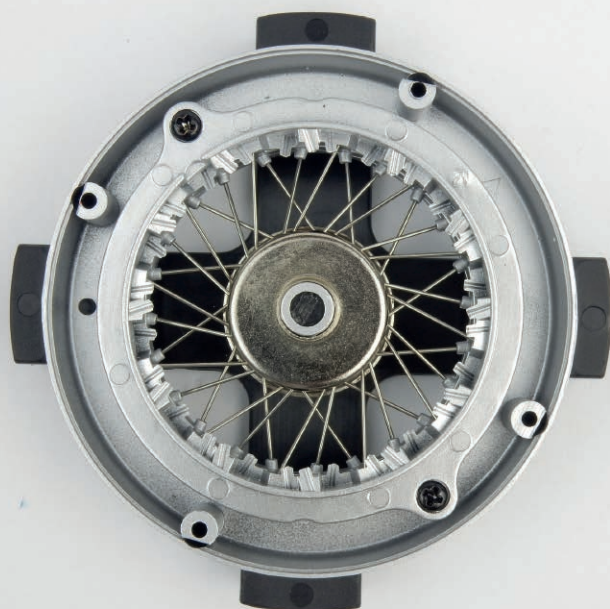
85-1 (スポークハウジング②)を、写真のようにはめ込む。

2本のネジBで固定する。

/05



/06



すべてのパーツが正しく取り付けられているか確認しよう。



**STAGE 05** の完成

右側のリアホイールがここまで仕上がった。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

## リアホイール・右③

右側のリアホイールの組み立てを続ける。次回で完成だ。

86-1



86-2



86-3



ネジB×7



86-4



86-5



## パーツリスト

86-1 アウターホイールリム

86-2 シールリング

86-3 ワッシャー

86-4 タイプAスポーク×12

86-5 タイプCスポーク×25(1本は予備)

## ネジ類

ネジB(P2.3 x 5 mm)x 7 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 86

/01



86-4(タイプAスポーク)のフックを、84-4(タイプAハブ)の残りの穴に挿入する。写真のように、スポークは向きを正しくし、まっすぐな端の方を、85-1(スポークハウジング②)のノッチに配置する。

**STAGE 85** で組み立てた右側のフロントホイールを用意する。組み立てを始める前に、70-1(スポークハウジング②)の端に小さく切った両面テープを貼り付けておこう。

/02



86-4(タイプAスポーク)をすべて組み込んだら、84-5(タイプCハブ)を写真のように置く。

/03



86-5(タイプCスポーク)のフックを、84-5(タイプCハブ)の下の穴に挿入する。

/04







写真のように、Cスポークのまっすぐな端の方をハウジングのノッチに配置する。ハブの下の穴すべてが埋められるまで、この手順を繰り返す。

さらに、86-5(タイプCスポーク)のフックを、84-5(タイプCハブ)の上の穴に挿入する。

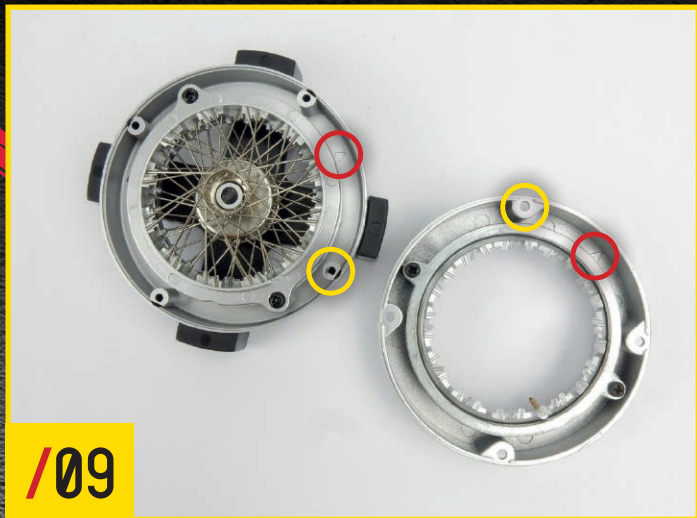


Cスポークのまっすぐな端の方を、ハウジングの一番上にあるノッチに配置する。ハブの一番上の穴すべて埋められるまで、この手順を繰り返す。



86-2(シールリング)を86-1(アウターホイールリム)の内縁に固定する。写真のように、2本のネジBで固定する。





86-1 (アウターホイールリム) をホイールに取り付ける。写真のように、円で囲んだ部分を合わせる。

4本のネジBでリムをホイールに固定する。



**STAGE 06** の完成

右側のリアホイールがここまで仕上がった。次回で完成させよう。

## リアホイール・右④

タイヤをはめ込んでリアホイールを完成させよう。写真をよく見て、慎重に進めよう。

87-1



## パーツリスト

87-1 タイヤ

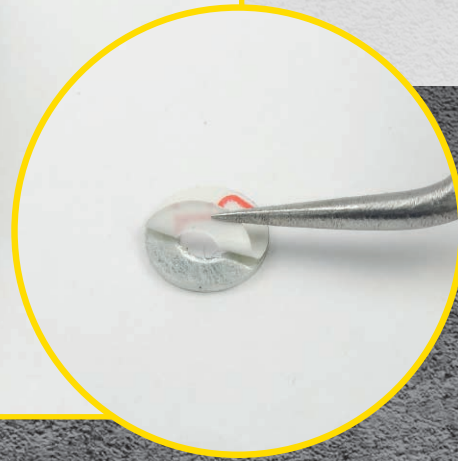
**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミンソイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 87

/01



**STAGE 88** で組み立てた右側のリアホイールと86-3(ワッシャー)を用意する。円内写真のように、ワッシャーの保護フィルムをはがす。



フィルムをはがしたワッシャー側の面を下に向け、写真のようにタイプCハブに挿入する。

/02



/03



写真のようにワッシャーが配置されているか確認しよう。



/04



87-1(タイヤ)をホイールにはめ込む前に、(ヘアドライヤーなどで)タイヤを少し温めておくとよい。ゴムが少しでも柔らかくなると扱いやすい。

タイヤに十分な柔軟性があることを確認する。

/05



/06



タイヤに左側リムをはめ込む。



**STAGE 87** の完成

これで右側リアホイールの組み立てが完了した。他のパーツとともに大切に保管しておこう。

## ペダル

ペダルを組み立て、ファイアーウォールに取り付けていく。  
今回使わなかったパーツは大切に保管しておこう。



## パーツリスト

88-1 左ホイールアーチ

88-2 右ホイールアーチ

88-3 ブレーキペダル

88-4 アクセルペダル

88-5 クラッチペダル

88-6 ブレーキペダルベース

88-7 アクセルペダルベース

88-8 ブレーキペダルブラケット

88-9 アクセルペダルブラケット

88-10 カップリング

88-11 ロッド

88-12 タブ

88-13 ブレーキケーブル

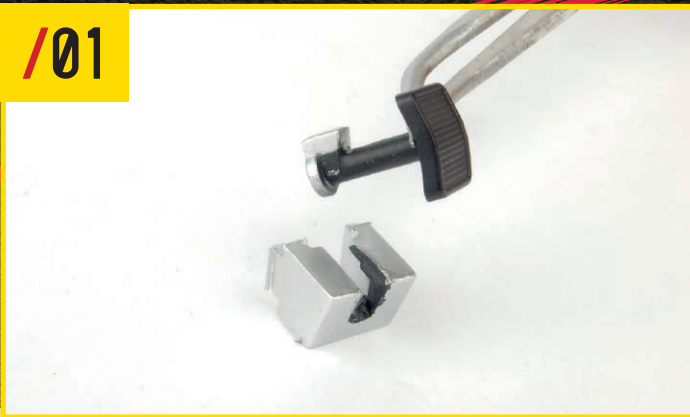
88-14 アクセルケーブル

## ネジ類

ネジB (P2.3×5 mm) ×5  
(1本は予備)ネジK (M2.0×3 mm) ×2  
(1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



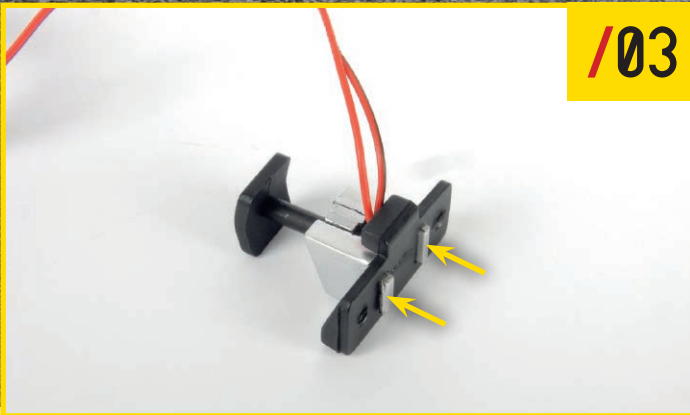
88-3(ブレーキペダル)を88-6(ブレーキペダルベース)に取り付ける。ペダルの「歯型」がベースの溝に合うように。

/02



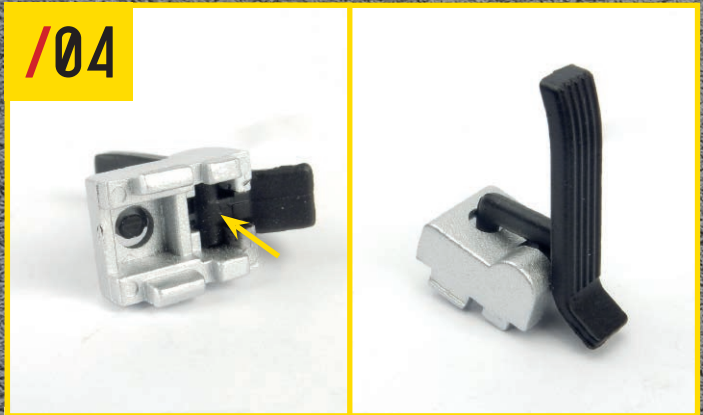
88-13(ブレーキケーブル、黒いコネクター)を取り付ける。ケーブルはペダルの「歯型」の方に向ける。

/03



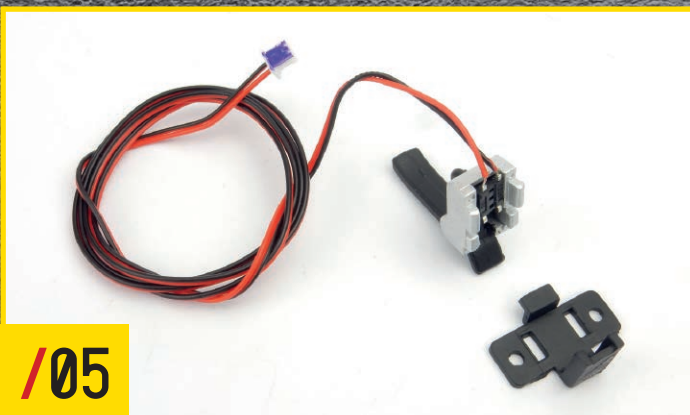
88-8(ブレーキペダルブラケット)を取り付ける。ベースにあるシルバーの突起部分2つと完全にかみ合うまで押す。

/04



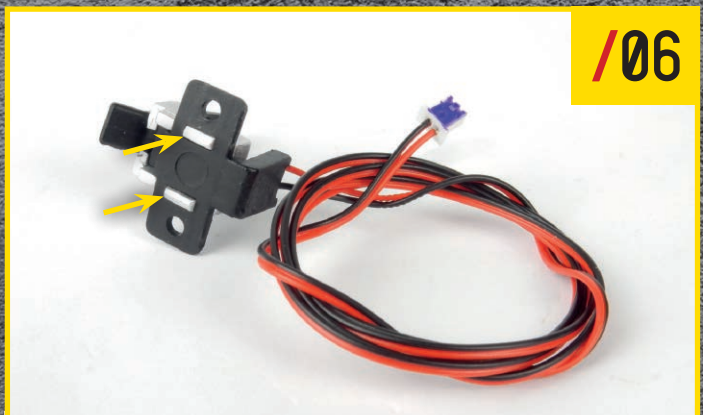
88-4(アクセルペダル)を88-7(アクセルペダルベース)に取り付ける。写真のように向きを正しく合わせる。

/05



88-14(アクセルケーブル、白と紫のコネクター)を取り付ける。写真のように向きを合わせる。

/06



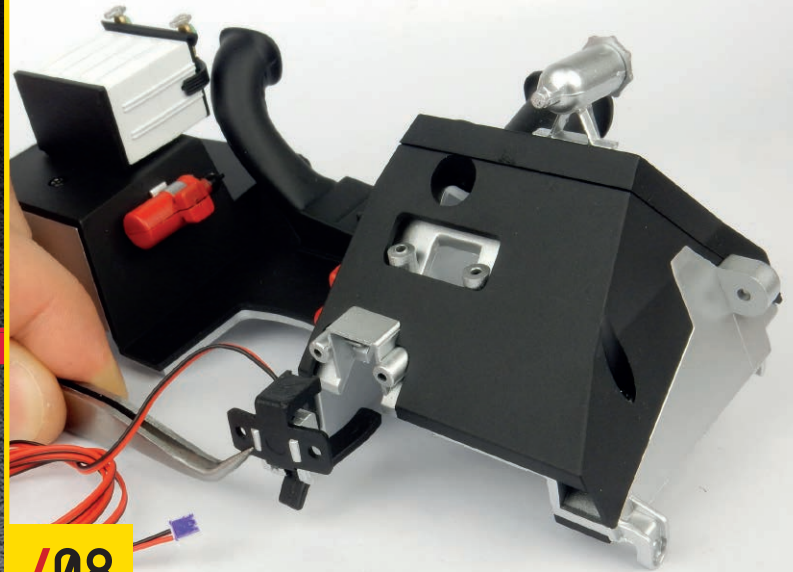
88-9(アクセルペダルブラケット)を取り付ける。ベースにあるシルバーの突起部分2つと完全にかみ合うまで押す。



/07

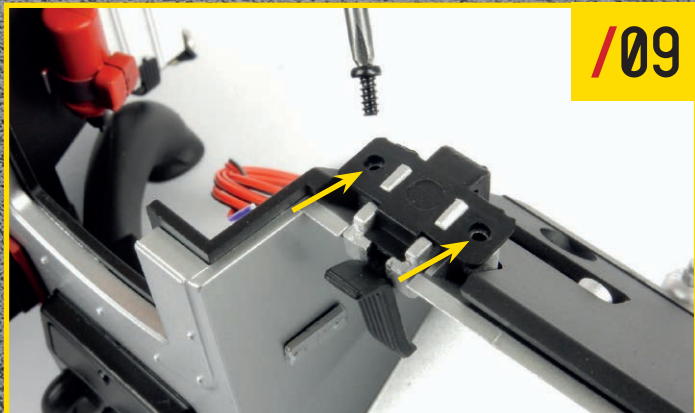


組み立てた2つのペダルを押して、スイッチが正しく動作するか確認する。



/08

ファイアーウォールを用意する。写真のように、アクセルペダルをはめ込む。



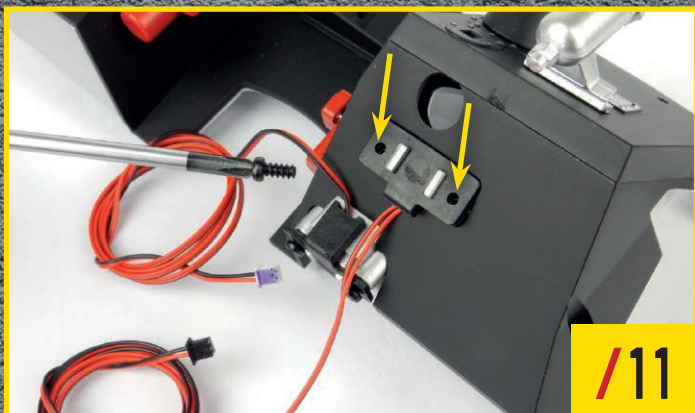
/09

2本のネジBで、アクセルペダルをファイアーウォール後部に固定する。



/10

写真のように、ブレーキペダルを取り付ける。



/11

2本のネジBで、ブレーキペダルをファイアーウォール後部に固定する。



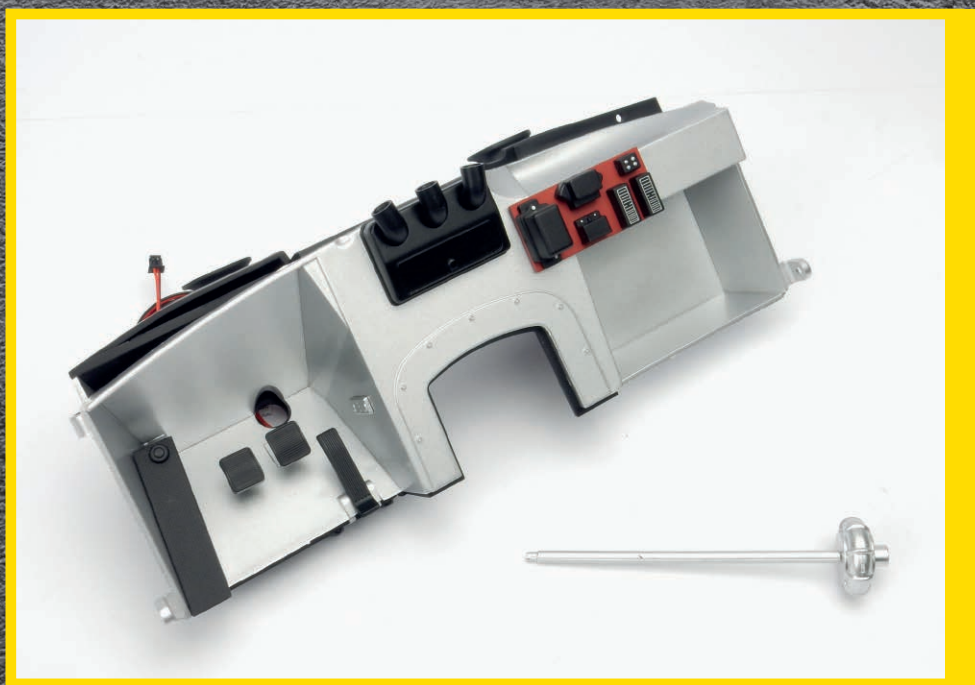
/12

88-5(クラッチペダル)をファイアーウォール前部にはめ込む。



/13

88-11 (ロッド)の一端を88-10(カップ  
リング)中央の穴に挿入する。



**STAGE 08** の完成

今回の組み立てはここまで。今回使  
用しなかったパーツとともに大切に  
保管しておこう。